

浮魚情報（第8報）

令和4年9月14日
宮城県水産技術総合センター環境資源チーム
Tel : 0225-24-0139 Fax : 0225-97-3444

カタクチシラス分布調査結果

○調査方法

- ・9月13日に県漁業調査指導船「開洋」にて、県仙南海域の共同漁業権内においてシラス分布調査を行いました。
- ・調査方法は、魚群探知機によりシラスやイワシ類と思われる反応を調べ、魚種確認のため、中層トロール網（10分曳き）による捕獲調査と漁場環境調査を行いました。

○魚群探知機航走調査結果

- ・St.3名取沖の表面付近では、断続的にポツポツとしたやや濃い目の反応が見られました（図1、図2）。

○中層トロール網による魚種の確認結果

- ・図1に示す山元沖T1及びT2、名取沖T3において中層トロール網（10分曳き）を行った結果、T1では170尾、T2では44尾、T3では510尾採取されました（表1）。漁獲物の体長はT1で14~40mm（平均22mm）、T2で14~44mm（平均26mm）、T3で20~45mm（平均30mm）でした（図3）。また、T1とT2ではシラスサイズ主体でしたが、T3では銀色に色付き始めたカエリ（幼魚）が主体でした（図3、図4）。カタクチシラスのCPUE（尾/網）はT3で昨年を上回っていましたが、T1では昨年から大きく下回りました（図5）。

○漁場環境等

- ・調査海域の表層水温は、24.3~24.8℃、底層付近は、20.6~23.2℃となっていました（表2）。
- ・調査漁場の底層付近はSt.1とSt.2で水産用水基準（6mg/L）を下回り、貧酸素状態となっていました。

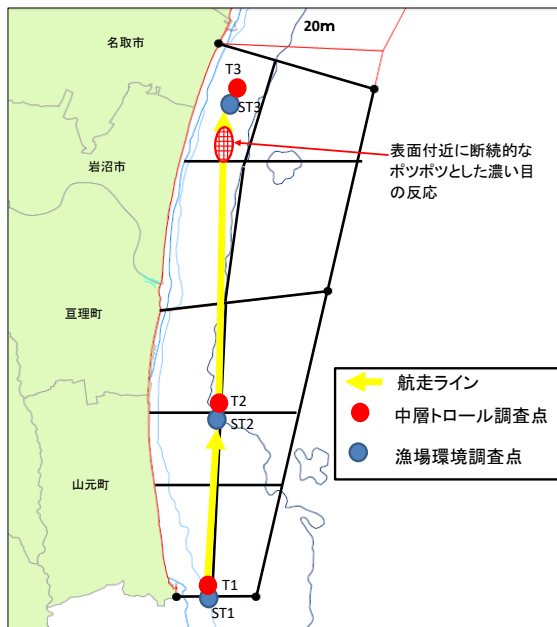


図1 航行ラインと中層トロール調査点

表1 各調査点の漁獲尾数

中層トロール調査点	カタクチシラス尾数	マシラス尾数	備考
T1	170	0	シラスサイズ主体でカエリサイズは2%
T2	44	0	シラスサイズ主体
T3	510	0	ほぼカエリサイズ主体

表2 各調査点の環境調査結果

St	時間	測定層水深(m)	透明度(m)	水温(°C)	塩分	pH	DO
St1	9:54	0	4	24.3	30.4	8.4	8.6
		5		23.4	31.4	8.3	7.8
		B-1		22.9	32.2	8.1	5.7
		10.9					
St2	10:53	0	4	24.8	28.6	8.4	9.5
		5		23.5	32.2	8.2	7.5
		10		23.2	32.4	8.2	7.4
		15		22.8	32.6	8.2	7.3
		20		21.0	33.2	8.1	6.1
		B-1		20.6	33.2	8.0	4.7
St3	11:37	0	4	24.8	29.9	8.3	8.4
		5		23.6	31.9	8.2	7.6
		10		23.2	32.3	8.2	7.4
		B-1		23.2	32.4	8.2	7.1

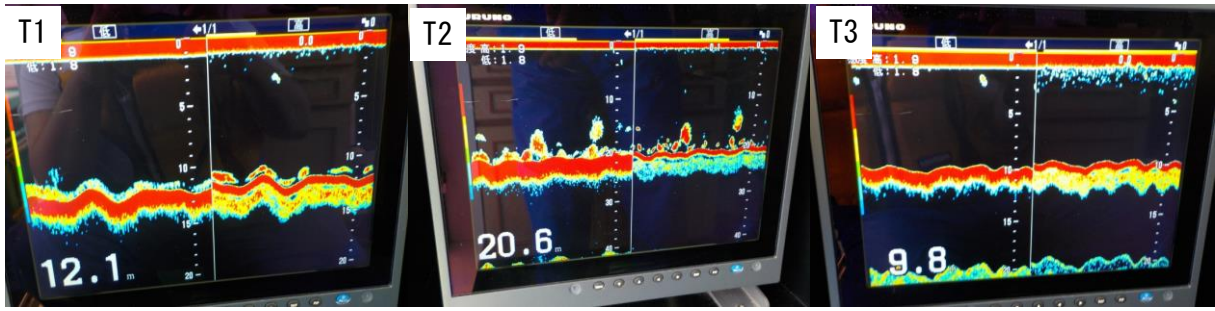


図2 各調査点でのシラスと思われる魚探反応

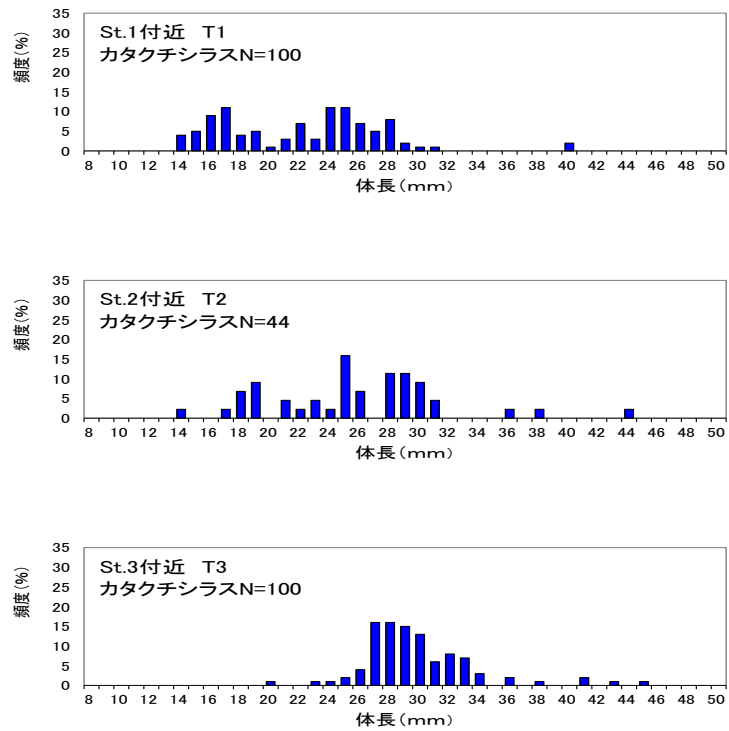


図3 中層トロールで採捕されたカタクチイワシ仔魚及び幼魚の体長組成

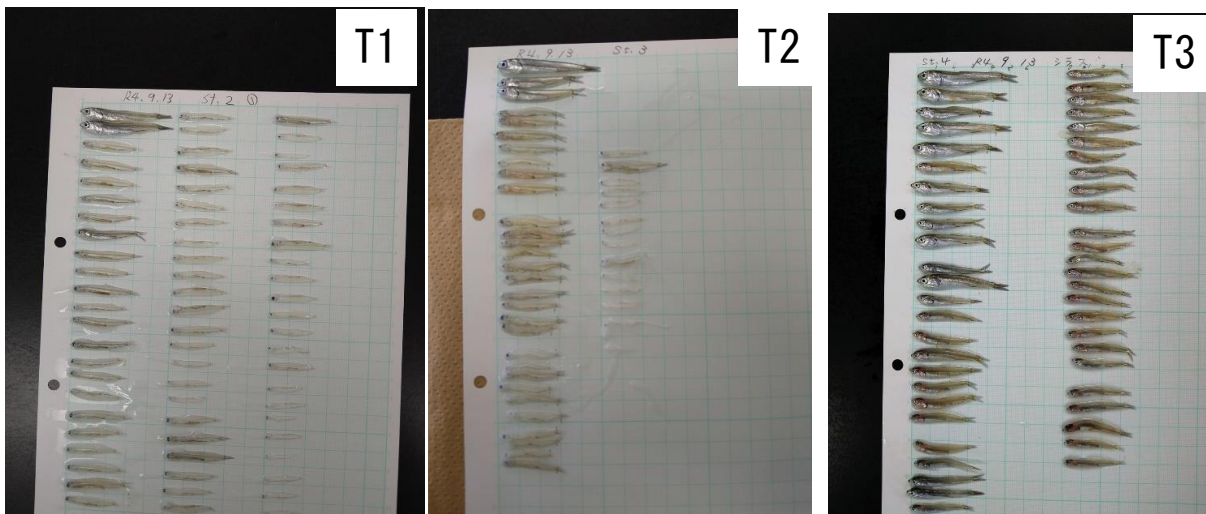


図4 中層トロールで採捕されたカタクチイワシ仔魚及び幼魚

カタクチシラス9月調査CPUE(尾／網)

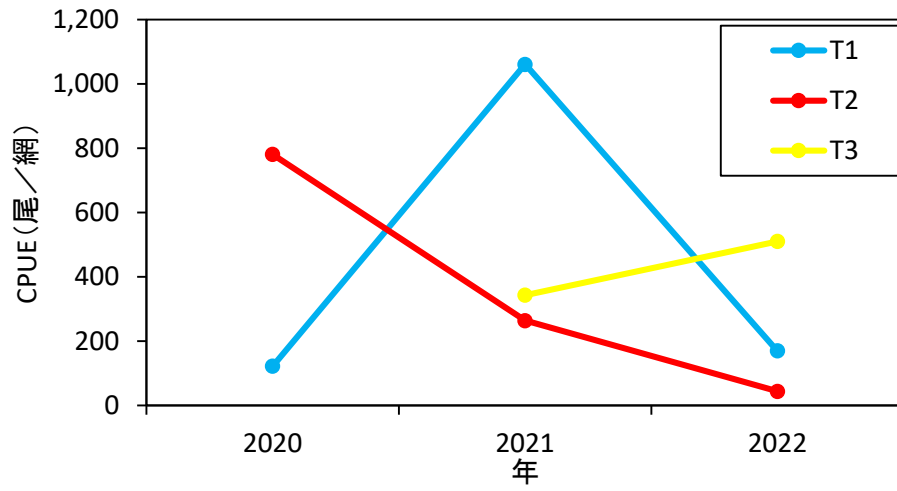


図5 中層トロール(10分曳網)で採捕されたカタクチシラスのCPUE(尾・網)の変化。